

2024年11月14日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社  
代表者名 代表取締役社長 CEO 中村 壮秀  
(コード番号: 6081 東証グロース市場)  
問合せ先 取締役 田中 裕志  
(TEL 03-6408-2791)

### 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、2024年12月期第3四半期連結会計期間（2024年7月1日～2024年9月30日）において、最近の業績の動向等を踏まえ、2024年2月14日に公表いたしました2024年12月期（2024年1月1日～2024年12月31日）の通期連結業績予想を、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

#### 1. 業績予想の修正について

2024年12月期通期連結業績予想数値の修正（2024年1月1日～2024年12月31日）

	連結売上高	連結営業損益	連結経常損益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり連結当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 4,000	百万円 250	百万円 250	百万円 50	円 銭 3.52
今回修正予想（B）	3,400	△430	△470	—	—
増減額（B－A）	△600	△680	△720	—	
増減率（％）	△15.0	—	—	—	
（参考）前期連結実績 （2023年12月期）	4,144	258	314	△146	△10.35

#### 2. 修正の理由

国内事業は2024年12月期上期までプロダクト事業（旧国内SaaS事業）とソリューション事業の二軸で展開してまいりましたが、デジタルマーケティング予算の見直しで変化した顧客ニーズへの対応の遅れと、例年以上に季節要因の影響を大きく受けたことで、期初計画に対する進捗に遅れが生じておりました。そこで2024年7月より、プロダクト事業（旧国内SaaS事業）とソリューション事業の事業統合に着手し、国内事業として抜本的な構造改革を進めております。当第3四半期連結累計期間では、人員配置の最適化やサービスポートフォリオの再設計、顧客リストの精査など、事業の合理化・効率化を推進いたしました。統合効果が顕在化するまでには一定の時間を要することから、第4四半期会計期間においても上期からの未達分を挽回するには至らない見通しです。

海外事業は、当社の海外連結子会社であるSUPERFACTION PTE, LTD.が、2023年以降、主要顧客であるゲーム業界全体の広告予算縮小の影響を大きく受け、業績が厳しい状況で推移しておりました。これに対し当期は、経営体制の刷新、人員体制の最適化、固定費の大幅な削減等の収益改善策を実施するとともに、ゲーム業界以外への顧客層拡大にも注力してまいりました。しかしながら、当第3四半期連結累計期間において業績回

復が鈍かったことから、早期の黒字化は困難であるとの認識に至り、来期以降の当社グループ全体の収益性と経営資源の最適配分の観点から総合的に検討した結果、SUPERFACTION PTE, LTD.の事業継続は困難であると判断いたしました。

上記の国内事業及び海外事業の状況を踏まえ、第2四半期累計期間までの未達額に、第3四半期の実績および第4四半期の見通しを加味した結果、売上高において600百万円の下方修正が必要となりました。

損益面につきましては、SUPERFACTION PTE, LTD.の事業撤退による影響と、国内事業における事業構造改革に伴う一時的なコスト増により、営業損益を680百万円下方修正いたします。経常損益については、営業損益の下振れに加え、第3四半期までの実績を踏まえ720百万円の下方修正としております。

親会社に帰属する当期純利益に関しましては、当社は、2024年10月31日付「連結特定子会社2社及び非連結子会社1社の解散及び清算に関するお知らせ」にて公表いたしましたとおり、SUPERFACTION PTE, LTD.とCredits株式会社、及びAllied Tech Base Co.,Ltd.の解散を決議し、SUPERFACTION PTE, LTD.については清算手続(Winding Up by Court)の申立てを行っております。当該解散に係る費用の一部を第4四半期連結会計期間に特別損失として計上する見込みではありますが、シンガポールにおける清算手続(Winding Up by Court)の進捗により費用変動の可能性があり、現時点では精緻な算出が不可能であるため、非開示といたします。今後、合理的な予想値の算出が行えるようになった段階で、速やかに公表を行ってまいります。

当社グループは、今期取り組んでいる事業構造改革により、これまでの海外事業における収益性の課題に一定の区切りをつけることができました。加えて、国内事業においては、プロダクト事業(旧SaaS事業)とソリューション事業の統合による効率化と、主力商材である「Letro」シリーズにおける新サービスの開発等、再成長に向けた基盤構築を着実に進めております。

この度の経営判断を、持続的な成長に向けた転換点と位置付け、今後は収益基盤の再構築と成長戦略の実行に、グループ一丸となって取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、当社グループの中長期的な企業価値向上に向けた取り組みにつきまして、引き続きご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

なお、2024年12月期通期決算発表は、2025年2月14日を予定しております。

#### (業績等の予想に関する注意事項)

上記の通期業績予想につきましては、当社が本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によりこれらの予想数値と異なる可能性があります。

以 上